

平成29年度 河川魚類等調査委託 報告書(概要版)

調査概要

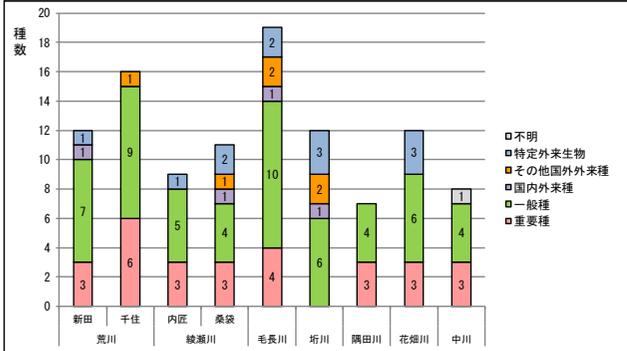
足立区内の魚類生息状況を把握するため、平成29年7月～10月に荒川、綾瀬川、毛長川、圀田川、花畑川、中川の7河川9地点にて魚類調査を実施した。調査は、定置網・刺網・投網・タモ網等を用いて魚類の任意採集を行った。綾瀬川の2地点では、底生動物の採集も行った。



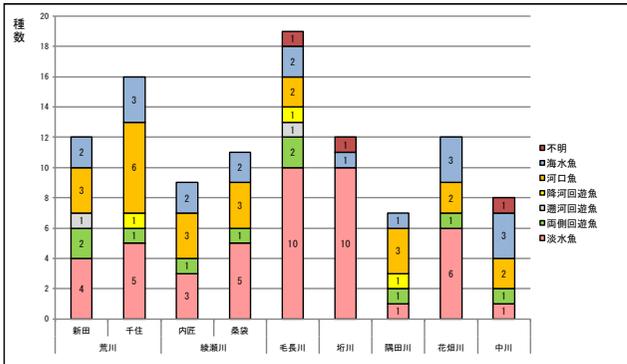
調査結果

- ・合計7目13科31種の魚類が確認された。
- ・8種の魚類が重要種に該当した。
- ・2種が国内外来種、7種が国外外来種に該当した。国外外来種のうち5種が特定外来生物に該当した。
- ・確認種の48%が淡水魚、16%が回遊魚、32%が河口・海水魚であった。
- ・毛長川、圀田川は比較的上流に位置するため、淡水魚の割合が高かった。
- ・綾瀬川では、14種の底生動物が確認され、5種が重要種、2種が外来種に該当した。(外国産由来の可能性のある種含む)

魚類 調査地点別確認種数



魚類 生活型別確認種数



河川別調査結果

【毛長川】ふれあい橋上流付近 9月7日/8日 曇り/晴れ



【調査地点概況】
両岸とも植生に覆われている。
本調査地点のうち、最も上流に位置する。

【確認種】19種
ニホンウナギ、コイ、ギンブナ、タイリクバラタナゴ、マルタ、モツゴ、タモロコ、ニゴイ、スゴモロコ、チャネルキャットフィッシュ、カタヤシ、スズキ、ボラ、ウキゴリ、マハゼ、旧トウヨシノボリ類、シモフリシマハゼ、アマチチブ、カムルチー

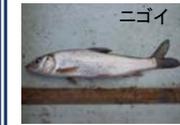


【綾瀬川】桑袋ビオトープ公園付近 7月10日/11日 晴れ/晴れ 10月4日/5日 晴れ/晴れ



【調査地点概況】
両岸とも垂直護岸であり、浅場もほとんどみられない。

【確認種】11種
ゲンゴロウブナ、ニゴイ、スズキ、ブルーギル、オオクチバス、ボラ、マハゼ、アシシロハゼ、シモフリシマハゼ、アマチチブ、カムルチー



【花畑川】六木三丁目付近 9月5日/6日 曇り/曇り



【調査地点概況】
両岸とも垂直護岸となっているが、親水テラス付近では浅場や抽水植物がみられる。

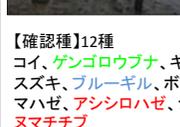
【確認種】12種
コノシロ、モツゴ、ニゴイ、ミナミメダカ、スズキ、ブルーギル、オオクチバス、コクチバス、ボラ、マハゼ、シモフリシマハゼ、アマチチブ



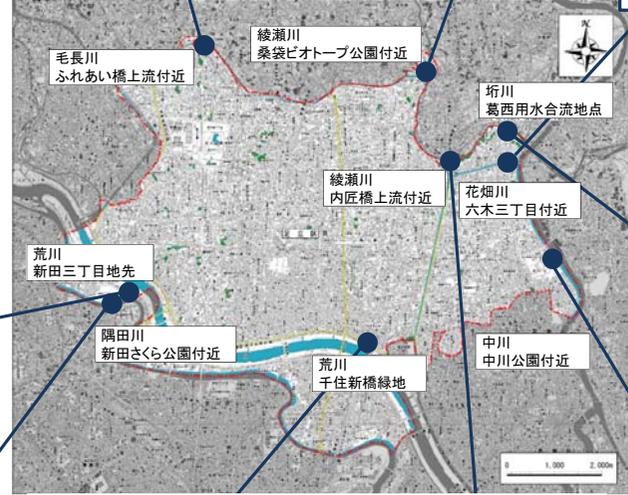
【荒川】新田三丁目地先 9月6日/7日 雨/曇り



【調査地点概況】
抽水植物、ワンド、流入水が存在し、干潮時に干潟が形成される。



【確認種】12種
コイ、ゲンゴロウブナ、ギンブナ、マルタ、スズキ、ブルーギル、ボラ、カワアナゴ、マハゼ、アシシロハゼ、シモフリシマハゼ、アマチチブ



赤色の種:重要種 青色の種:国外外来種 緑色の種:国内外来種

【圀田川】葛西用水合流地点 9月4日/5日 雨/曇り



【調査地点概況】
両岸とも垂直護岸であり、ヨシ等の抽水植物はみられない。

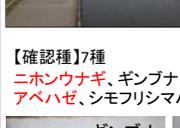
【確認種】12種
コイ、ゲンゴロウブナ、ギンブナ、タイリクバラタナゴ、モツゴ、タモロコ、ブルーギル、オオクチバス、コクチバス、ボラ、旧トウヨシノボリ類、カムルチー



【圀田川】新田さくら公園付近 9月6日/7日 雨/曇り



【調査地点概況】
両岸とも垂直護岸であるが、左岸側は親水テラスとなり、一部で抽水植物群落や人工ワンドが造成されている。



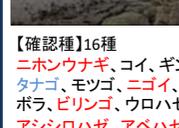
【確認種】7種
ニホンウナギ、ギンブナ、スズキ、マハゼ、アベハゼ、シモフリシマハゼ、アマチチブ



【荒川】千住新橋緑地 9月7日/8日 曇り/晴れ



【調査地点概況】
河岸にワンドが整備されており、干潮時に干潟が形成される。抽水植物もみられる。



【確認種】16種
ニホンウナギ、コイ、ギンブナ、タイリクバラタナゴ、モツゴ、ニゴイ、スズキ、ヒイラギ、ボラ、ピリンゴ、ウロハゼ、マハゼ、アシシロハゼ、アベハゼ、シモフリシマハゼ、アマチチブ



【綾瀬川】内匠橋上流付近 7月10日/11日 晴れ/晴れ 10月4日/5日 晴れ/晴れ



【調査地点概況】
両岸とも垂直護岸で、抽水植物はみられないが、干潮時に浅場がみられる。



【確認種】9種
コイ、ニゴイ、チャネルキャットフィッシュ、スズキ、ボラ、マハゼ、アシシロハゼ、シモフリシマハゼ、アマチチブ



【中川】中川公園付近 9月4日/5日 雨/曇り



【調査地点概況】
抽水植物が生育し、干潮時には干潟が干出する。



【確認種】8種
コノシロ、ウグイ属、ニゴイ、スズキ、ボラ、マハゼ、アシシロハゼ、アマチチブ



